

壁紙施工要領書

- 防塵壁紙 -

【該当商品】

- ・ケミカルフリークロス
- ・帯電防止 $10^8 \Omega$
- ・防塵ジョイントテープ

■下地処理

防塵壁紙は、防塵性を確保するために、一般の壁紙よりも平滑に仕上げてあります。したがって、下地の善し悪しは直接仕上がり具合に影響しますので、一般の塗装仕上げ同様にていねいに仕上げてください。

クリーンルームの壁、天井の下地が石膏ボード、ケイカル板などの成形ボードの場合は、各ボードの目違い、段差などが生じないように堅固に取り付け、目地部及びビス頭部分にはパテ処理を行い、更にサンドペーパーがけ等を行って平滑に仕上げる必要があります。コンクリート下地の場合は、モルタル金ゴテ押さえを原則とし、必要に応じてパテ処理、サンドペーパーがけを施し、平滑に仕上げてください。また、出隅、入隅部はバリ等がないようにし、通りをよく仕上げてください。

ケイカル板、モルタル下地には、シーラー処理が必要です。

石膏ボード下地

★チェックポイント

- ・石膏ボードが湿っぽくないか？湿っぽい場合は十分に乾燥させるか、防かび処置を施してから施工します。
- ・ステンレス以外の釘が使われていないか？鉄釘などが使われている場合は、さびを完全に落とし、防さび処理をおこなう。

★シーラー処理

- ・水性シーラーを刷毛やローラーにて下地全面に塗布します。
- ・2～3時間乾燥させます。

★パテ処理

- ・下塗り用パテでパテ処理し、V溝、段差等を埋めます。
- ・仕上げ用パテでパテ処理し、下地を平滑化します。
- ・2～3時間乾燥させます。

★注意事項

- ・施工は5℃以上でおこなうようにしてください。
- ・はみ出したシーラー、パテは直ちに拭き取ってください。
- ・かびの発生しやすい現場では、条件に応じた防かび工法で施工してください。

モルタル下地

★チェックポイント

- ・モルタル表面が粉っぽくないか？粉っぽい場合は溶剤系のシーラー（ヤヨイ・プライマーK／矢沢・パラダインシーラーNo.2など）を塗布し、エチレン酢ビ系の接着剤を捨て糊したあとに壁紙を張ります。
- ・モルタルの養生、乾燥が充分であるか？不十分な場合は充分に乾燥させます。

★シーラー処理

- ・水性シーラー（ヤヨイ・シーアップ/矢沢・パラダインシーラーなど）をメーカー所定の希釈率で希釈し、刷毛やローラーにて下地全面に均一に塗布します。
- ・2～3時間乾燥させます。

★パテ処理

- ・下塗り用パテでパテ処理し、V溝、段差等を埋めます。
- ・仕上げ用パテでパテ処理し、下地を平滑化します。
- ・2～3時間乾燥させます。

★注意事項

- ・施工は5℃以上でおこなうようにしてください。
- ・はみ出したシーラー、パテは直ちに拭き取ってください。
- ・粉っぽい場合は溶剤系のシーラー（ヤヨイ・プライマーK／矢沢・パラダインシーラーなど）を塗布し、エチレン酢ビ系の接着剤（40%希釈）を捨て糊したあとに壁紙を施工してください。

ケイカル板下地

※ケイカル板は防塵壁紙の下地としては不向きです。

★チェックポイント

- ・ケイカル板の粉吹き具合は？粉吹き度合いによってシーラー塗布回数を決定します。

★シーラー処理

- ・シーラーで刷毛やローラーにて下地全面に均一に塗布します。
- ・1～2時間乾燥させます。

★パテ処理

- ・仕上げ用パテでパテ処理し、目地部、ビス頭部を埋め、下地を平滑化します。(石膏系のパテは樹脂を混合しないと下地の吸い込みが激しいため、粉吹きを起し接着不良の原因になります。)
- ・2～3時間乾燥させます。

★注意事項

- ・施工は5℃以上でおこなうようにしてください。
- ・はみ出したシーラー、パテは直ちに拭き取ってください。
- ・シーラーの塗布ムラ、塗布量の不足により、壁紙にフクレが生じることがありますので、シーラー塗布の際には充分ご注意ください。

■防塵壁紙の張り付け

- ・入隅、枠廻り等には、ジョイントコークを注入してから壁紙を張ってください。
 - ・でん粉糊に、エチレン酢ビ系ボンドを約20%混合し、50～60%の水で希釈し、壁紙の裏面に塗布し、うませ時間を5～10分間とったあと張ってください。塗布量は130～150g/m²を目安にしてください。
 - ・ケミカルフリークロスは、うませ時間を20～30分程度とって作業を進めてください。また、冬期時にはもう少し長めにとってください。後伸びによるフクレの原因となります。
 - ・施工後、十分に乾燥させてから、目地部分にジョイントテープを張り付けます。ジョイントテープは離型紙をはがしながら張り合わせ、ローラーで圧着してください。
- ※ジョイントテープの接着面に施工糊などが付着しておりますと、テープの接着に支障をきたしますので、きれいに拭き取ってください。また、防塵壁紙施工後の乾燥が不十分ですと、後日接着剤の水分による蒸気圧で重ね部分のジョイントテープに、フクレが生じる場合がありますので注意してください。

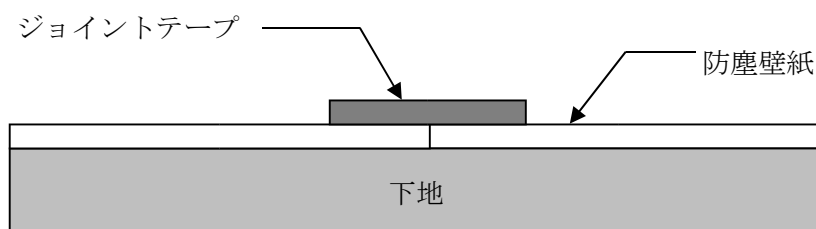
■『突き付け+ジョイントテープ』の施工方法

①接着剤は、でん粉糊にエチレン酢ビ系ボンドを約20%混合し、50～60%の水で希釈してください。接着剤を壁紙裏面に130～150g/m²均一に塗布し、うませ時間を5～10分間とり施工してください。

ケミカルフリークロスは、うませ時間を20～30分程度とって作業を進めてください。

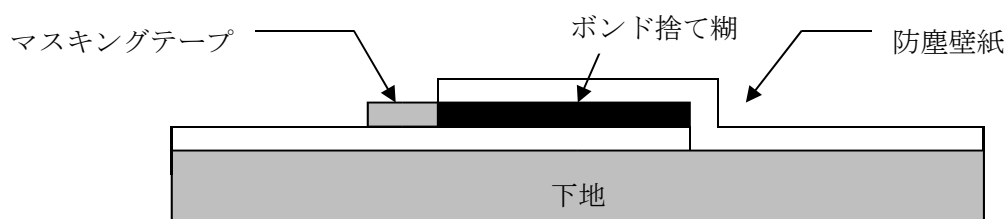
また、冬期時にはもう少し長めにとってください。後伸びによるフクレの原因となります。

②ジョイントテープは離型紙を剥がしながら貼り合せ、ローラーにて圧着してください。



■ 『重ね張り』の施工方法

- ①接着剤は、でん粉糊にエチレン酢ビ系ボンドを約 20%混合し、50～60%の水で希釈してください。接着剤を壁紙裏面に 130～150 g / m²均一に塗布してください。
- ②重ね部分の壁紙裏面に養生テープを貼り、うませ時間を 5～10 分間とり、壁紙を重ねて一旦貼り合せてください。(養生テープは剥がさない)
ケミカルフリークロスは、うませ時間を 20～30 分程度とって作業を進めてください。
また、冬期時にはもう少し長めにとってください。後伸びによるフクレの原因となります。
- ③壁紙ジョイント部の端に沿ってマスキングテープを貼り、下になる壁紙の表面にボンドを原液で 130～150 g / m²均一に塗布し乾燥させてください。(捨て糊)
- ④壁紙裏面の養生テープを剥がし、重ね部分を貼り合せてください。
- ⑤マスキングテープを剥がしてください。



■ 『重ね張り+ジョイントテープ』の施工方法

- ①上記重ね張りを行なった後、ジョイントテープを使用してください。
ジョイントテープは裏面の離型紙を剥がしながら貼り合わせ、ローラー等で圧着してください。
- ②ジョイントテープの使用は、重ね張り施工後 1 日以上乾燥してから行なってください。未乾燥の場合、ジョイントテープにフクレが発生する場合があります。

